

# Local Area News

## 法改正に伴う説明会を実施

群馬県再生資源事業(協連)

群馬県再生資源事業協同組合連合会(上岡克己会長)は、6月28日、県庁昭和庁舎において、「廃棄物処理法・バーゼル法改正に伴う説明会」を開催した。

本説明会は、平成30年4月に施行となった「改正廃棄物処理法」並びに10月に施行となる「改正バーゼル法」について、事業者としての対応を学ぶために開催。会員企業から42名が参加した。

開会にあたり、上岡会長と群馬県環境森林部廃棄物・リサイクル

課長の木島敏博氏が挨拶。講師は、同じく廃棄物・リサイクル課リサイクル係長の本間秀一氏が務めた。

本間氏は、今回の法改正は規制の強化ではなく、あくまでも一部の違法業者の締め出しを目的としたものと前置きした上で、廃棄物処理法・バーゼル法の改正箇所や、それに伴って必要となる届出の様式等について解説した。



熱心に説明に耳を傾ける参加者

## 恒例のビアパーティ

今年も1,000人超

高崎卸商社街(協)

高崎卸商社街協同組合(吉濱達三理事長)は、7月18日、高崎市・ビエント高崎ビッグキューブにお

いて、第28回ビアパーティを開催した。

本イベントは、当組合の青年部である高崎問屋街青年経営者研究会が中心となつて企画・運営しているもので、今や組合の恒例行事として定着している。

当日は、県内最高気温が38度に達する猛暑日であり、参加した約1,000人の組合員や賛助会員が冷たいビールと美味しい料理に舌鼓を打った。

後半には、温泉宿泊券等豪華賞品が当たる大抽選会が実施され、番号が読み上げられる度に会場内から歓声が上がするなど、大いに盛り上がりを見せていた。



大勢の参加者で賑わう会場

## 案内板を県内3公園に寄贈

(一社)群馬県造園建設業協会

一般社団法人群馬県造園建設業協会(須永敏明会長)は、7月26日、前橋市・敷島公園で総合案内板の贈呈式を開催した。

案内板の寄贈は、10月に創立50周年を迎える同協会が、記念事業として行ったもの。案内板は敷島公園のほか、高崎市・観音山ファミリパークと館林市・多々良沼公園にも寄贈した。

3ヶ所に設置するのは高さ2メートル、幅2.2メートルのステンレス製の案内板。いずれも園内の施設をカラフルに色分けし、それぞれの公園の特徴を表わしたものになっている。

贈呈式冒頭、須永会長は「創立50周年に当たり、群馬県や県民の皆様役に役立てることがしたいと案内板の寄贈を決めた。少しでも公園利用者の方々にご活用いただければ」と想いを語った。

この後、除幕式が執り行われ、須永会長から群馬県県土整備部都市計画課長の眞庭宣幸氏へ目録を手渡した。

# LAW



寄贈した案内板をお披露目

## 移動金融車「鶴まう号」

### 運行開始

ぐんまみらい(信組)

ぐんまみらい信用組合(小林章理事長)は8月1日、トラックの荷台を改造し、ATMや業務端末を搭載した移動金融車「鶴まう号」の運行を開始した。

移動金融車の県内での導入は、J A利根沼田に次いで2例目。信用組合では鹿児島興業信用組合が導入しているが、ATMを設置するのは当組合が全国初となる。

当組合では、少子高齢化や過疎化が進む中山間地区への戦略として、対面方式による攻めの営業を展開し、新たなビジネスモデルの構築を目指すとともに、一部の店舗を「預金特化型店舗」に変更し、融資関係を別支店に引き継ぐことで店舗の合理化も推進している。移動金融車は、こうした空白地への金融サービスの維持を目的としている。

1台で通常の店舗とほぼ同様の業務を行うことができる。また、発電機を2台搭載しており、災害時の復旧支援等でも活躍が見込まれる。

れる。

小林理事長は「名前は『上毛かるた』の舞う形の群馬県』に由来し、県民に広く親しまれるようにと名付けた。運行を通してより良い金融サービスを提供していきたい」と語った。



オープニングセレモニーの様子

## 安全月間に係るキャラバン隊

### 群馬県電気工事(工)

群馬県電気工事工業組合(小谷野一彦理事長)では、8月1日、県庁昭和庁舎前において、電気使用安全月間に係るキャラバン隊の出発式を行った。

当キャラバン隊は、8月の電気使用安全月間に合わせ、電気



大勢の見送りの中キャラバン隊は出発した

全使用と事故防止の啓発を目的とするもの。今年は、伊勢崎・太田・館林・桐生・みどり市の順に東毛方面の市役所等を訪問し、電気の使用安全等についてのPRを行う。

出発式では、小谷野理事長が活動の趣旨や実施内容を記した全日本電気工業業工業組合連合会・米沢寛会長名の趣意書を読み上げ、群馬県危機管理監・横室光良氏に趣意書を手渡した。

横室氏は「記録的な猛暑が続き、冷房等で電気使用量が増加している。本日も猛暑日の予報であり、熱中症に注意しながら、電気の使用を訴えて欲しい」と激励の言葉を贈った。